

備後 伝統の匠展

なかつぎおもて

いぐさ

～中継表と藁草～



備後は、福山藩初代藩主・水野勝成が藁草栽培を奨励し、「福山ゆかりの先人」にも選定されている長谷川新右衛門が考案した中継表の技法が、脈々と受け継がれて来ました。この度、文化財を支える「伝統の匠」として、文化庁から手織中継表製作が選定され、保持者として本市の来山淳平さんが認定されたことを受け、備後の畳表の成り立ちや、中継表製作など、伝統の匠を紹介する展覧会を開催いたします。

会期：2024年（令和6年）2月15日（木）～3月24日（日）

会場：歴史資料室（福山市霞町一丁目10番1号）
まなびの館ローズコム 4階



主催：福山市（経済環境局文化観光振興部文化振興課）
協力：来山淳平，広島県藁業協会，有限会社佐野商店